

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

「大地の息吹」に価値を創造します。

「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成9年2月21日（金）発行No.358

広報きたうら

茨城県行方郡北浦村



おととつと 竹馬はむずかしいよ

〈小貫小学校 親子で竹馬づくり〉

平成7年度決算報告

2・4

虹工房 ②③	ふれあい北浦	5
文化と学習	増岡弘さんを囲む会／ふるさとの草木③	6・7
むらの話題	消防出初式／成人式／正月お楽しみ会	8・9
スポーツ大会の結果	村内一周駅伝大会／サッカー交流大会	10
さわやか健康	私の健康法(大川得朗さん)／一言アドバイス	11
お知らせ		12

平成7年度 決算報告

◆特別会計◆

区 分	歳 入	歳 出	差 引 額
老人福祉センター	99,703,076円	93,890,530円	5,812,546円
老人健康保健	716,842,539円	716,474,142円	368,397円
簡易水道事業	157,229,085円	142,354,154円	14,847,931円
国民健康保険	1,147,976,188円	1,023,541,340円	124,434,848円

◆基金残高◆

—— 村の預金 ——

◆村債残高◆

—— 村の借金 ——

◎一 般 会 計

48億4738万円

◎簡易水道事業

6億5890万円

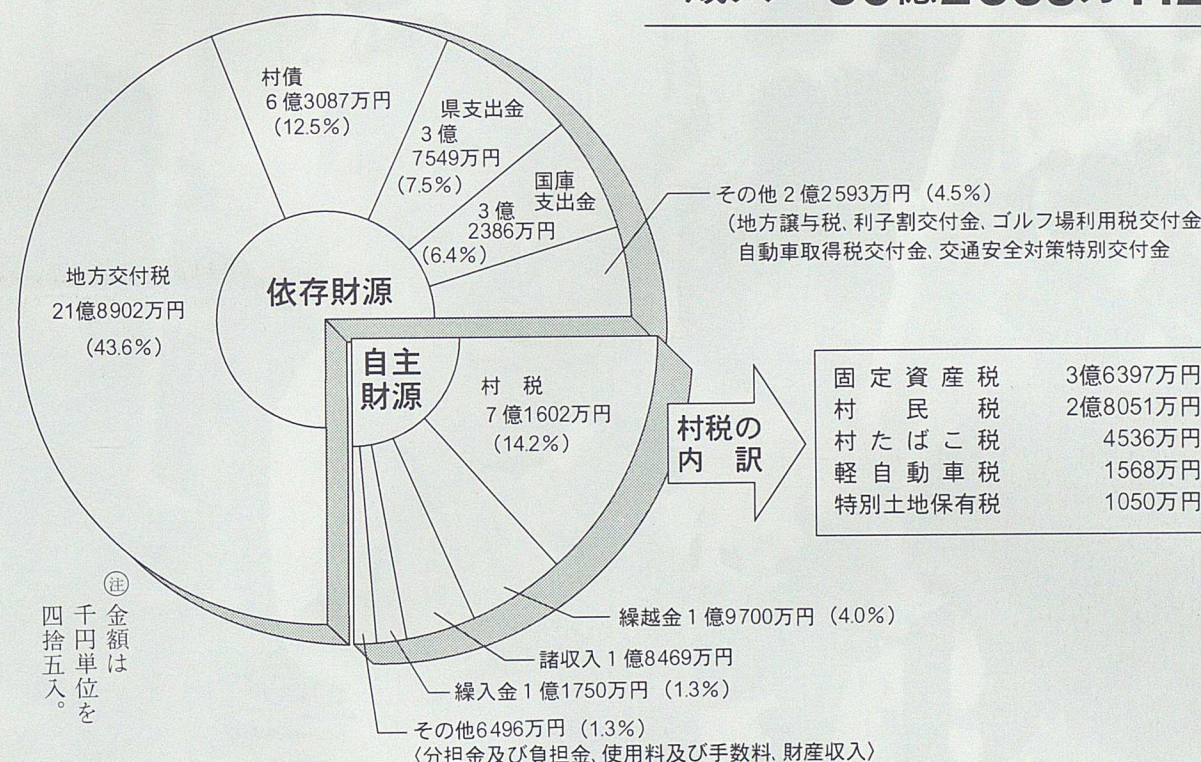
⑥ 千円単位以下は切捨て

名 称	金 額	目 的
財 政 調 整 基 金	3億5454万円	年度間の財源の調整を行い、財政を健全に運営するための基金
減 債 基 金	2億6417万円	村債償還の財源を確保するための基金
ふるさと北浦振興基金	3328万円	個性豊かな地域づくりを推進するための基金
ふれあいと活力に満ちた村づくり基金	4億578万円	「ふれあいと活力に満ちたふるさと」の村づくり事業推進のための基金
北浦村人材育成基金	1億7514万円	村づくりに必要な人材を育成するための基金
学校施設整備基金	1億9836万円	学校施設の整備のための基金
社会教育施設整備基金	1億4875万円	社会教育施設の整備のための基金
老人福祉センター施設整備基金	1570万円	老人福祉センターの施設整備をするための基金

⑥ 千円単位以下は切捨て

◆一般会計◆

歳入 50億2533万1127円

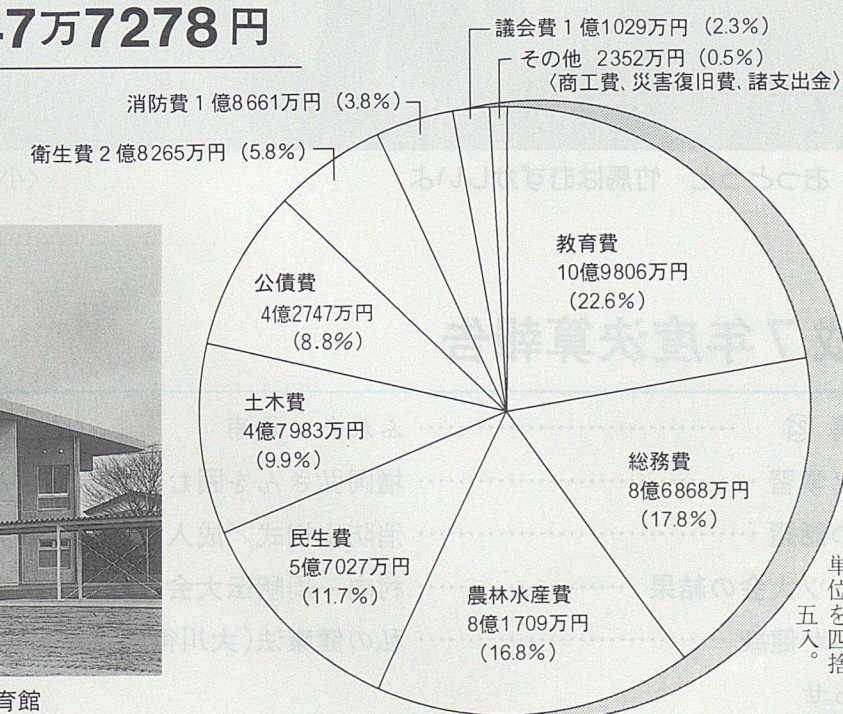


固定資産税	3億6397万円
村民税	2億8051万円
村たばこ税	4536万円
軽自動車税	1568万円
特別土地保有税	1050万円

歳出 48億6447万7278円



新築された津澄小学校体育館



村民一人当たりに使われたお金

四三五、二六一円

※平成九年一月一日現在の人口一、一七六人で換算

教育費

98,252円

学校教育や社会教育に



農林水産費

73,111円

農林水産業の振興に



民生費

51,026円

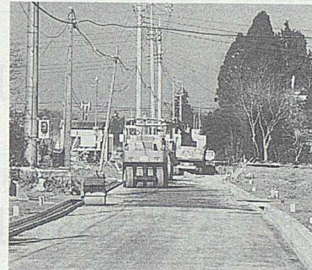
住民福祉のために



土木費

42,934円

道路等の整備のために



衛生費

25,291円

健康・清掃等のために



消防費

16,697円

消防・防災のために



村民一人当たりが納めた税金

64,067円

※平成9年1月1日現在の人口11,176人で換算

固定資産税

32,567円

土地、家屋、償却資産を所有している人が納めます。

軽自動車税

1,403円

軽自動車、バイク、原付自転車、小型特殊車にかかります。

村民税

25,099円

村行政に必要な費用を、住民の皆さんに負担していただきます。

特別土地保有税

940円

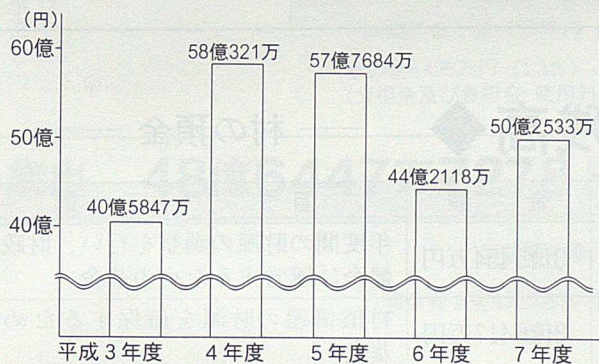
基準以上の遊休地を所有している人が納めます。

村たばこ税

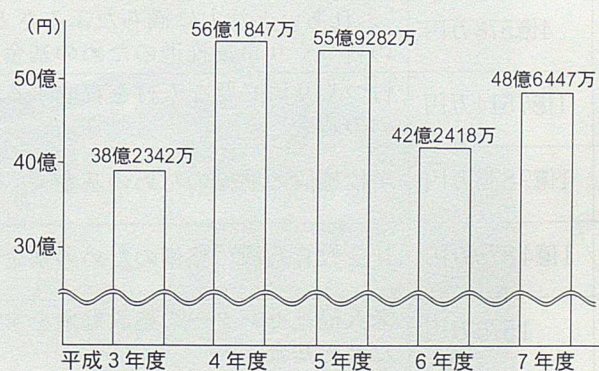
4,058円

たばこの価格に含まれ、一部が村の財源として生かされます。

一般会計歳入決算の推移



一般会計歳出決算の推移



魅力の村づくり 北浦虹工房

②「ふれあい北浦」

■五つの北浦

先月は北浦という地域名が東北秋田の角館市を中心とした一帯にあることを紹介しながら、北浦という名がもつイメージなどについて書きました。このことをきっかけにして、北浦の名の土地をもっと少し探してみようという気になりました。村の皆さんもご存じだと思いますが、九州宮崎県には北浦町があります。人口五千人を少し超えるほどの町ですが、豊後水道と日向灘が交わる辺りの海辺にあり、その海岸線は日豊海岸国定公園になっていて、周辺の市町村とともに観光事業にもなかなか熱心なようです。秋田県には角館市の他にも北浦という字名をもつ地区があることがわかりました。かつては北浦村として、独立した行政区画だったようですが、現在は男鹿市の一地区となっています。男鹿半島の北辺にあり、北の磯、入り組んだ所という意味か

ら「北のうらむら」と呼ばれていたようです。こうして探してみるとあるものだと思います。私が住む横浜の隣、川崎市多摩区には菅北浦という町名があります。多摩区は内陸にあるのですが、その近くを多摩川が流れています。その多摩川の堤から一キロほど離れたところに菅北浦があります。多摩川は昔大水の度に川筋が変わる川だったそうです。例えば等々力（とどろき）という地名は多摩川をはさんで東京と川崎の両方にあります。かつて等々力は陸続きの一つのまとまった地域であったものが、川筋の変化で二個所に分断されたのだと聞いたことがあります。菅北浦も昔は川辺の町であったのではないかと推測したくなります。浦は水を意味するものだから。

角館と男鹿と九州宮崎、そして川崎市、茨城の北浦。少し探ただけでも日本には五個所の北浦があります。もつとつぶさに地図を調べれば、他にも北浦が存在するかもしれません。この五個所の北浦は、宮崎の北浦町役場の方が茨城北浦村を一度訪れて来られたことがあるという以外、歴史的になにか互いに関わりをもったことがあるという話は聞いたことがありません。地名を同じくするということは、それ自体特別の深い意味があるわけではありませんが、地名がつくる、あるいは地名に影響された風土にはなにか共通するものがあるようにも思います。

■「外から見た北浦を」

北浦村役場の方から、「村の方が何人集まるので、『外から見た北浦村』について話をしてくれないか」というご依頼を受けました。私もこのような原稿を書かせていただいている縁もありますし、村の方々とお話できるのは楽しいことだと思います。お引受けしました。ただし、私が一方的に話をするのはなく、座談会に加わっていただくという条件で、『外から見た〇〇地域について』という依頼に対してよくあるのは、目新しい土地の印象ばかりを挙げて褒め過ぎる意見を言うこと。もう一つは、外から見ていると欠点のようなものは見つけやすいものです。前回は批判的になりすぎること。前者に対しては半信半疑でしか聞いてもらえず、後者については聞く耳を塞がれてしまい、いずれにしても役に立たない意見となってしまう。有用な意見はその中間にあるようです。私も心して臨みたいと思います。

■北浦交流会

話を元に戻しますが、全国に今北浦と名づけられた土地が五個所ある、この五個所すべてがとはいいませんが、互いに交流し合うというのはどうでしょうか。地名を同じくする土地を訪れ、その人に会うというのは、何か遠い親戚に会ったような、淡い共通感覚を感じるものではないでしょうか。そこで忌憚らない意見が交わされる。それは単に外から見た

北浦についての意見ではなく、外であつて外でない、もちろん内でもない、何か不思議な重みをもつ、意義深い意見が交わされるような期待が生まれます。地域が新しく変わろうとするとき、外からの刺激をうまく採り入れることは大切なことです。それが「ふれあい」ということだと思います。ふれあいを大切にする茨城北浦村として、北浦交流会なるものを一考されてはいかがでしょうか。

追記

この原稿を書き終えようとしていたところ、いつもイラストを描いてくれているY氏が、まだまだ北浦はあるぞと知らせてくれました。兵庫県の内陸、千丈寺湖のほとりの北浦、岡山県児島湖畔にある北浦、そして下関には北浦街道がありま



村の石仏・石塔 ⑩ 妙見菩薩

妙見菩薩には「菩薩」の名がついています
が、厳密には天部の中に入れるべき神様です。
「尊星王」「北辰王」「北辰菩薩」「北辰妙
見菩薩」などの別名で呼ばれているように、
北辰すなわち北極星を神化したものです。
北極星は「天の北極」に近い位置にあるた
め、ほとんど動きません。昔の人は北極星を
中心に星々が回るのを見て、これが星の王様
だと考え信仰しました。また北斗七星は、そ
の向きで季節を見、農作業の目安にしたので、
生活との強い結びつきがありました。北斗七
星は、北極星と一体だと考えられていたため、
石塔などに北斗七星を描いたものも少なくあ
りません。妙見菩薩は国土を守り、災いを除
き、人の福寿を増すとされますが、特に眼病
の治ゆのために信仰されました。

「北浦村の石仏・石塔」
（北浦村教育委員会）より



(笠の前面に北斗七星が刻れています)

元治元年（一八六四）長野江

北浦村中央公民館
図書館

新着図書 1/7~2/3

◆一般圖書 全87冊

* テレビクイズ日本人の質問 (日本放送協会) * お楽しみ (出久根達郎) * 乾坤の夢「上中」 (津本陽) * 白い月を抱いた熊 (本山賢司) * 少年H「上下」 (妹尾河童) * 自分を大切にするための小さなノート (広瀬裕子) * 春に縮む (山上たつひこ) * 空の画廊 (伊集院静) * 故なくかなし (辻井喬) 他

◆参考図書 全3冊

* 社会学小辞典 * 知恵蔵 * 日本土器事典

◆ビデオ 全1巻

* ホームアローン

◆兒童圖書 全28冊

*NHKやってみようなんでも実験2（榎田政隆）*霧の彼方へ（はまみつを）*50年めの手紙（長崎源之助）*とおり夏の日／四万十川ものがたり（笹山久三）*相撲（榎山千代）他

◆絵本 全19冊

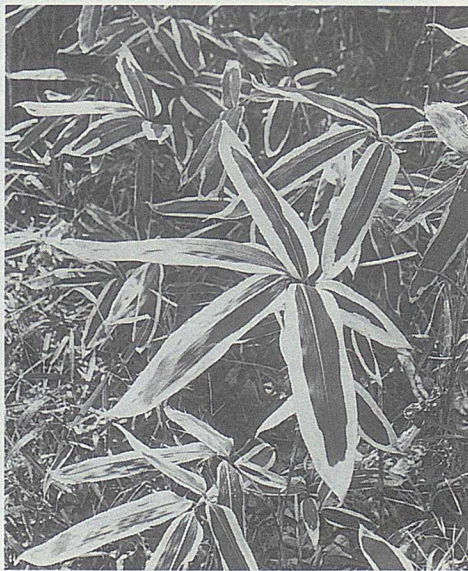
*きつねいろのくつした(こわせたまみ) *ちいさなくも(カール) *ないしょなんだけどね(スオミセツコ) *よるのおるすばん(ワッデル) *もりおとこのしごと(秋山匡) 他

◆ C D 全4卷

*マキシム*ツインベスト*ゴールデンQ 他

ふるさとの草木 ③ クマザサ 〈隈笹〉

イネ科ササ属



葉の緑が白く枯れたクマザサ
(H9.1.30撮影、小貫にて)

クマザサの「クマ」は動物の熊と思いますがちですが、じつは「隈^{くま}どり」の意味です。晩秋に葉の縁が黄色くなり、冬には見事な白色で隈どりされます。高さは一―一、五m。節から一本ずつ枝を出し、四―七枚の葉をつけます。葉の長さは十―二十五cmの狭長だ円形で、両面とも無毛です。ササ類の葉は、糖尿病やガンに効くという話も聞きます。鉄、カリウム、マグネシウムなどのミネラルのほかに、ビタミン類(特にビタミンK)が豊富なので、その効果なのでしょう。うか。

日本原産が多いササ類ですが、意外なことに同じ仲間
のタケ類はほとんどが中国から渡来したものです。たと
えばマダケは奈良時代に輸入され、貴重な植物として宮
廷の庭の中だけで栽培されていました。また、モウソウ
チクは、江戸時代中期に薩摩藩に渡来したといわれて
います。現在では、すっかり日本の風景となった竹林で
すが、奈良時代以前には笹林しか見られなかったのです。
それがタケが持つ繁殖力で、ほぼ日本全土に広がったの
でしょう。ちなみにタケノコは漢字で「筍」、竹冠たけかんに旬
(十日間)と書きます。つまり、十日間でタケになるほ
ど成長が早いということです。

増岡 弘さんを囲む集い

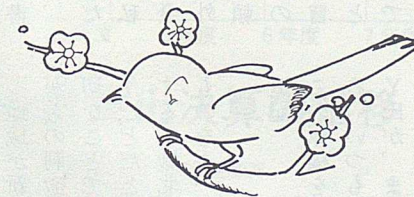


増岡さんの手作りのみそを使った
みそ汁に舌つつみを打つ参加者のみなさん

雑学ゼミナール

ウグイス

ウグイスは日本各地に生息しており、私たちの村でも鳴き声を聞くことができます。春の始めに鳴き始めますが、最初は『ささ鳴き』といって「チャツ、チャツ」と鳴きます。次に、おなじみの「ホーホケキヨ、ケキヨ、ケキヨ」という『ウグイスの谷渡り』と続きます。これは仏教の教典『法華經』^{ほけきょう}にかけたもので、お経を読むので『經読鳥』とも呼ばれていました。日本に仏教が伝わる以前は「ヒー、ヒトク」(人・鳥が来る)と聞こえたそうです。そうしたことから、『人來鳥』とも呼ばれました。そ



のほかに、多くの異名があります。その美しい鳴声で、古くから人々から親しまれたせいでしょうか。たとえば春鳥、春告鳥、句鳥、歌詠鳥、花見鳥など、どれも美しいものです。ウグイスの大きさはスズメくらいで、黄色がかった緑色をしています。俗にいう鶯色です。漂鳥（ウグイス）によって狭い地域を移動する鳥）の一種で、冬は平地に下り、夏は山地の低木林に移ります。もうすぐ、ウグイスの鳴く季節。自然が残り、いち早く春を告げる声を聞ける私は幸せなのかも知れません。

—マスオさんの美味しい味噌づくり—

一月二十五日に、中央公民館で著者を囲む会が開催されました。講師は、テレビアニメ「サザエさん」に登場するマスオさんの声を、二十年間も続けている増岡弘さんでした。

増岡さんはみそづくりを始め、酒や野菜も自分で作っているそうです。「食べ物づくりは、自分づくり。食べることの大切さを知ってもらいたい」と話したあとで、「父親は百姓。百のものを作るから百姓で、すばらしいと思う。良い百姓は土を作る。普通の百姓は作物を作る。悪い百姓は雑草を作る」と、農業への思い入れを語りました。

著書の「マスオさんの美味しい味噌づくり」は、両親から教わったことをまとめたものだそうです。公民館の図書室にもありますので、あなたもみそづくりにチャレンジしてはいかがでしょう。

中央公民館講座紹介 ②



パンづくり講座は、10名を募集したところ25名の申込みがある人気ぶり。そのため、10月30日から12月11日と11月6日から12月18日の2つの班に分け、毎週水曜日（各4回）開催しました。

パンを作るには、約2時間30分かかります。初めての方が多く、恐る恐る材料をこねている様子でしたが、回数を重ねるたびに上達していきました。材料をこねながら発酵を繰り返し、形を整えてオープンへ。焼き加減を覚えるには、経験が必要です。なごやかな雰囲気の中にも、真剣に講師の指導を受けていました。講座の仕上げは、紅茶を飲みながらパンを試食。もう一度みんなで作り方を復習しました。

受講生は「自分でパンが作れるようになるなんて、新たな発見です」と話していました。家に帰ってから、ひとりで挑戦した方もいたようです。今年度は女性だけの参加でしたが、来年度は男性の方の参加もお待ちしております。



長寿社会のイキイキライフ

—— 社会福祉大会で講演 ——

1月23日に、中央公民館で北浦村社会福祉大会が開催されました。功労者の表彰の後、講師の宝井琴桜さんの講演とお話「講演で語る長寿社会のイキイキライフ」を聞きました。宝井さんは、女流講師第1号。昭和50年に初の女性真打ちとなった努力家です。最近のテレビの笑いを批判した後、瓜生岩子の講演を披露しました。

約170年前、岩子は貧困生活の末、人のために生きることを決意。戊辰戦争のとき、傷病兵や避難民を助けた。その後、女子の教育や貧しい人の救済に生涯をささげ、69歳の人生を閉じたといえます。

宝井さんは「彼女は前向きに生きた。もう歳だとあきらめず、自分に何ができるかを考え、人のために生きるべきだ」と語りました。長寿社会のなか、生き生きとした人生を送るには、どうしたらいいのかを参加者に問いかけていました。



男庭助役から感謝状を受け取る
高畑さん（右はじ）

高齢者福祉に役立てて

—— 高畑タケさんが村に寄付 ——

高畑さんご夫婦は、54年に鎌倉市から北浦村に移りました。その後ご夫婦で体調をくずし、玉造町の特別養護老人ホーム玉寿荘に入所しました。おだやかなホームでの生活を送っていたものの、昨年夫の美代次さんを亡くしました。高畑さんには身寄りがなく、「高齢者福祉に役立てて」と100万円を村に寄付されました。ありがとうございました。

TOPICS



要小で正月お楽しみ会

—— 天を焦がす鳥追い小屋の火 ——

1月18日に、要小で正月お楽しみ会が開催されました。この会は今年で21回目で、目玉は何といっても「鳥追い」です。鳥追いは「ワーホイ」とも呼ばれています。竹と篠で作った小屋の中で子供たちが雑煮などを食べ、夜になると小屋に火をつける伝統行事です。昔は害虫を防ぎ、豊作を願う行事として村中で行われましたが、昭和30年代後半には時代の流れとともに姿を消しました。

子供たちは、父兄がついた餅をほおばった後、それぞれの願いごとを書いた風船を飛ばしました。そして鳥追い小屋に火がつくと、竹が破裂する音に歓声をあげていました。こうした伝統行事は、いつまでも伝えていきたいものです。



店曲孝之さんのハウスを見学

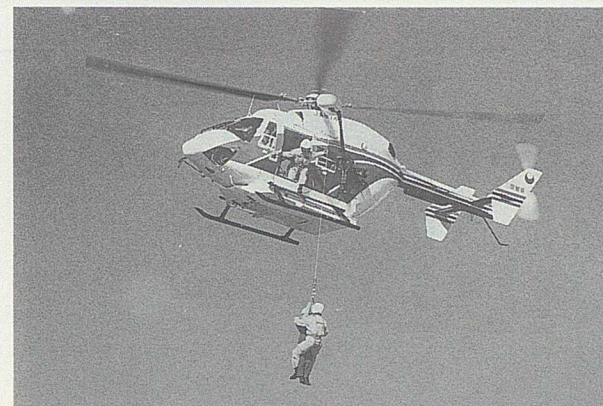
韓国の留学生と交流

—— 北浦国際交流協会 ——

北浦国際交流協会では、玉造ロータリークラブの協力を得て、1月14日と15日の2日間、筑波大学の韓国留学生16名を招いて交流会を行いました。

交流会は自性寺（内宿）で禅宗の教えを聞いたり、前田恵助さん（行戸）のみつば水耕栽培施設と店曲孝之さん（次木）のバラ栽培施設の見学、そしてボーリング、成人式の見学など盛りだくさん。会長の小沢三郎さんの「形式上ではなく、真の交流を深めたかった」の言葉どおり、留学生からは「北浦村の方々の温かさを感じた」「日本のイメージが変わった」などの声が聞かれました。

こうした交流が実を結び、「近くて遠い国」ではなく「近くて信頼し合える国」になればいいですね。



防災ヘリ「つくば」で救出訓練



湖に向かって一斉放水

成人式

—— 新たな門出を祝って ——

1月15日に、村の成人式が行われました。今年度の成人者は男性が84名、女性が83名の167名でした。磯山村長が、式辞のなかで「日々心身を鍛え、立派な社会人になってください」と励ますと、成人者代表の柳瀬有寿さん（山田）は「誇りと問題意識を持ち、より良い社会を築きあげます」と誓いの言葉を述べました。

式典の後の立食パーティーで、小・中学校時代の話に花が咲いたり、近況を語り合う姿が印象的でした。



式典・ゲームのあとは立食パーティー。あちこちで思い出話に花が咲いていました。

むらの話題

消防出初式

—— 防災を担う気持ちも新たに ——

1月17日に、消防出初式が行われました。2年前のこの日には、阪神・淡路大震災が発生しました。参加した消防団員は人命の大切さを痛感し、防災への決意を新たにしていました。

式典のあとは、湖の堤防での一斉放水。また、今年は県の防災ヘリコプター「つくば」が参加し防災航空隊による交通事故を想定した救出訓練が行われました。

1月17日は「防災とボランティアの日」。皆さんも防災について考えてみましょう。

◆表彰

*村長表彰（村ポンプ操法大会功労章）

・自動車ポンプの部

第1分団分団長 高柳 民一 さん

第1分団第1部長 横瀬 準 さん

・小型ポンプの部

第1分団分団長 高柳 民一 さん

第1分団第2部長 方波見 康 さん

*団長表彰（置場点検優良部）

第2分団第2部・第4分団第1部

*消防長官表彰（永年勤続功労章）

団長 高柳 制 さん

*茨城県知事表彰（永年勤続功労章20年以上）

分団長 有馬 七郎 さん



誓いの言葉を述べる柳瀬有寿さん。



記念植樹。左から斉藤慈子さん、宮内誠さん、宮崎幸夫さん、原洋子さん。

各種健診・相談等スケジュール

事業名	月日	受付時間	会場	対象
老人健康相談	2月21日	AM10:00～ 正午	長野江田園都市 センター	寿 会
マタニティ教室	25日	PM1:15～1:30	母子健康 センター	妊 婦 (2回目)
一般健康相談	28日	PM1:30～2:30	母子健康 センター	一 般
1歳児健診	3月4日	PM1:00～1:30	母子健康 センター	H.7.12.1 ～8.2.28生
食生活改善推進 員養成講習	5日	AM9:00～9:30	中央公民館	該 当 者
乳児健診	7日	PM1:00～1:30	母子健康 センター	H.8.8.12 ～11.7生
マタニティ教室	11日	AM9:00～9:30	母子健康 センター	妊 婦 (3回目)
献 血	12日	AM9:30～正午 PM1:00～3:30	津澄第一公民館 (役場隣)	16歳～64歳
講 演 会	14日	PM1:30～2:00	文 化 会 館	検診受診者 (骨粗鬆症)
育 児 相 談	17日	PM1:30～2:30	母子健康 センター	乳 幼 児
一般健康相談	21日	PM1:30～2:30	母子健康 センター	一 般

体に黒酢を加えると血液の流れがよくなり、末梢血管まで流れやすくなるため、動脈硬化等の予防効果があると思います。「私はキャップ一杯＋ジュース・一日一回」

二、健康は歩きから
私は、歩くことを勧めます。歩き方は「歩幅を3cmだけ広げるぞ」と意識して歩くとよいでしょう。息が切れたらスピードを落とし、ふだんの歩き方に戻して多くなった心ばく数を減らしてやります。平常に戻ったら歩幅を広げ、腕を大きく振って歩くようにします。年齢によって歩数の違いはありますが、私は六千から七千を目安にして実行しています。

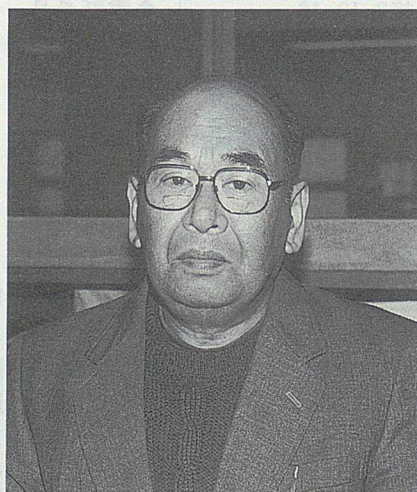
三、身体活性化のつば療法
一日一回、足のつば「三里」を指圧することを勧めます。三里を指圧することにより、食欲不振、足の痛み・しびれ、胃のもたれ、動脈硬化等、万病に効くといわれています。

四、まとめ
制限枚数のためくわしく述べられませんが、健康は最高の喜びです。一人一人が心がけて長生きをすることを願います。



病は、人間にとって最大の敵である。特に年齢が重なるにつれて、健康を保つことに関心を持ち、長生きの秘訣をさぐるようになりました。ここで、何点かの実践例を述べてみます。

一、血圧の調整
高血圧に悩んでいる方がいると思いますが、私は黒酢を飲んで予防しています。身



大川 得 朗さん(繁昌)

私の健康法

一言アドバイス

ご飯は

健康食

日本人は、一日に必要なエネルギーの約一六％をたんぱく質からとっています。これは、どこの国でもほとんど変わりません。違うのは脂質です。日本人の平均値は約二六％なのに対し、他の先進国は四〇％前後にもなります。そして脂質の摂取割合の高い国ほど、成人病の発症率が高いのです。つまり、炭水化物が豊富なご飯をたくさん食べ、脂質を抑えることが成人病予防の第一歩といえます。ぜひ、ご飯の良さを直視してほしいものです。ただし、ご飯の欠点はカルシウムと食物繊維が少ないこと。小魚や牛乳を多くとって補いましょう。

寒さなんか 吹き飛ばせ

—— 第39回北浦村内一周駅伝大会 ——
《とき・1月12日(日)》



- ◆一般男子の部
優勝 Y. P. C
第2位 根本板金A
第3位 げっぴ会長野江
第4位 根本板金B
第5位 北浦村職
第6位 三育中教職員
- ◆中学生男子の部
優勝 北浦中サッカー部D
第2位 北浦中バスケットボール部B
第3位 北浦中サッカー部C
第4位 三育中
第5位 北浦中野球部A
第6位 北浦中バスケットボール部A
- ◆女子の部
優勝 北浦中ソフトテニス部A
第2位 北浦中バレーボール部A
第3位 北浦中ハンドボール部A
第4位 北浦中バスケットボール部A
第5位 根本板金
第6位 北浦中バスケットボール部B



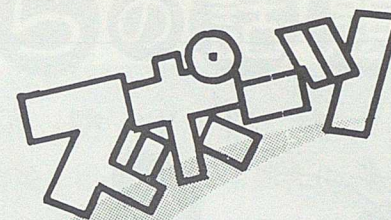
ゴールイン!!



第14回 サッカースポーツ
少年団交流大会

2月2日に、村第1・第2グラウンドで開催されたこの大会には、近隣町村から21チームが参加しました。残念ながら、村内のチームは善戦むなしく入賞できませんでした。

- ◆入 賞
優勝 鉾田サッカースポーツ少年団(鉾田)
準優勝 舟石川サッカースポーツ少年団(東海)
第3位 白西サッカースポーツ少年団(大洋)
" 津知サッカースポーツ少年団(潮来)



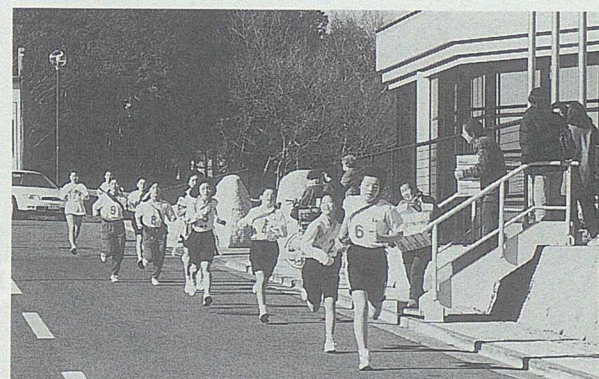
大会の結果



スタート!!

◆区 間 賞

	一般男子	中学生男子	女 子
1 区	大江 洲二	高須 友裕	石間久美子
2 区	塙 孝喜	小沢 淳史	宮本 知佳
3 区	田崎 博文	六笠 正俊	根本亜由美
4 区	関野 学	松金 敏行	羽生 恵子
5 区	菅谷 俊幸	小沼 忍	千ヶ崎恵子
6 区	園部 昭彦	河野 健太	田谷 典子
7 区	飯島 淳	斉藤 浩	
8 区	友竹 保	井川 善貴	



がんばれーっ

県立水戸南高等学校 通信制課程生徒募集

本課程は登校が月2回程度で、働きながら学べます。

◆願書受付期間

平成9年3月3日～28日
(3/5, 土・日, 祝祭日を除く)
午前9時～午後5時

◆応募資格

県内に居住または勤務し、中学もしくはこれに準ずる学校を卒業、または平成9年3月卒業見込みの方。新制中学を卒業していない方は、お問い合わせください。

◆提出書類

- * 所定の入学願書(複製不可)
- * 出身中学校の調査書(卒業後20年以上経過している方は卒業証書)
- * 提出は直接本校へ(郵送は不可)
- * 必要な書類は用意してあります。直接来校するか、返信用封書に貼るための「郵便番号、住所、氏名」を明記した紙片と、切手190円を同封のうえ請求してください。

- ◆お問い合わせ・書類請求先
茨城県立水戸南高等学校(通信制)
〒310 水戸市白梅2-10-10
☎029-247-4284・6173

第二種電気工事士受験準備講座

◆筆記(定員20名)

- * 内容
電気に関する基礎理論、配電理論
および配線計画、配線図 ほか
- * 実施日 5月27日～28日

◆技能(定員各20名)

- * 内容
配電図と図記号、電気接続法、試験問題の展開法 ほか
- * 実施日(①②とも内容は同じ)

① 7月9日～10日

② 7月17日～18日

◆受講時間 午前9時～午後5時

◆場所・お問い合わせ

県立鹿島産業技術専門学院
☎0299-69-1170 FAX 0299-69-6455

◆受講料 各2,800円(当日納入)

◆お申し込み

4月15日～5月2日に、受講申請書を提出(当学院にあります。印鑑必要)。電話・ファックスも可。

いばらき結婚相談センター開設

◆開設場所

- * 茨城県庁
商工労働部労政課労働福祉係
担当; 岡部(☎029-221-8111)

* 日立市

茨城県立中小企業福祉センター
担当; 鴨志田(☎0294-37-3096)

* 水戸市

茨城県労働者福祉協議会(労働福祉会館内)
担当; 外岡(☎029-231-3503)

◆利用できる方

県内に居住または勤務している方

◆費用 無料(ただし登録が必要)

◆お問い合わせ

- * 茨城県立中小企業福祉センター
☎0294-37-3096
- * 茨城県労働者福祉協議会
☎029-231-3503

NTT新聞代読サービス

視覚障害の方にかわって、新聞記事をお読みする「リーディングサービスいばらき」がスタートしました。

◆電話番号 ☎029-243-4600

◆提供日・時間

月～金曜日 午前10時～午後3時

◆ご注意

- * 代読料は無料。通話料は有料。
- * 1回の利用時間は約30分以内。

◆お問い合わせ

NTT茨城支店総務・経理部
☎029-232-4241

常陸鹿嶋公共職業安定所 麻生分室組織変更のお知らせ

現在 常陸鹿嶋公共職業安定所
麻生分室

変更後 常陸鹿嶋公共職業安定所
麻生職業相談室

◆業務開始 平成9年4月1日

◆業務取扱日 月・水・金曜日

◆取扱時間 午前9時～午後4時

◆取扱業務

業務・建物はこれまでと同じです。
(取扱日以外は常陸鹿嶋本所へ)

◆お問い合わせ

常陸鹿嶋公共職業安定所麻生分室
☎0299-72-0073

ゆうあいピック茨城大会 マスコット愛称募集

ゆうあいピックは、知的障害者の全国スポーツ大会です。

◆応募資格 県内居住・勤務者

◆募集締切 2月28日まで

◆応募方法

官製はがき1枚に1点の愛称を書き、「住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号」を記入。

◆ほう賞

最優秀賞 賞状・賞金5万円 他

◆応募先

茨城県福祉部障害福祉課内「ゆうあいピック開催準備室」

〒310 水戸市三の丸1-5-38

◆スローガン

いい友 いい愛
いい心

◆マスコット

ひばり



先天性四肢障害児の集団検診

先天性四肢障害児父母の会は、生れつき上下肢、指、耳等の障害を持つ子供と親の全国組織です。同会では、先天性四肢障害児(者)の集団検診を実施します。

◆日時 3月23日(日) 10時～16時

◆場所

茨城県総合福祉会館
水戸市千波町(☎029-244-4545)

◆受診料 無料(母子手帳を持参)

◆診察 木田盈二郎医師(帝京大)

◆お問い合わせ

佐藤和江(☎0298-73-6651)

アイバンクに登録を

視力を失った方の中には「角膜」を移植すれば、また見えるようになる方がたくさんいます。県内で角膜移植を待つ患者さんは80名余いますが、提供者は年間10～20名です。

角膜の摘出は、提供者の死後行います。光を失った方のために、登録をお願いします。登録用はがきの請求、くわしいことは下記まで。

◆お問い合わせ・はがき請求先

財茨城県アイバンク
☎029-224-7007